

やまやコミュニケーションズとの協議について

2021/12/08 提出

2020.5.27 (水) 13:58 やまやコミュニケーションズとの協議

出席者 やまやコミュニケーションズ

篠栗町：町長 熊谷

場 所 やまやコミュニケーションズ本社

やまや側から

- ・鹿島建設と設計協議を行っている。建設費が高い。
- ・新型コロナウイルスで打撃を受けている。
- ・観光客や企業の出張が止まっていることから空港や駅での販売がかなり落ち込んでいる。
- ・飲食店の売上も落ち込んでいるため外食向けの販売も落ち込み、グループとしての外食産業も落ち込んでいる。
- ・将来の変化にどのように対応するか考える時期にある。
- ・様々なアイデアで今後を乗り切る必要がある。
- ・緊急事態宣言下で止まっていたプロジェクトも再開するようにしている。
- ・現状では、新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかわからない。
- ・従業員の雇用確保のためにも、国の交付金を利用できないか可能性を探っている。
- ・精算金の支払いを半年ほど延ばしてほしい。
- ・今後どのようになるか見極める必要がある。
- ・現金の確保が必要である。
- ・人流が再開されないと先の見通しが見つからない。

町から

- ・貴社の現状は、理解できた。
- ・精算金延長に関しては、どのように進めていくか本町の中で検討する。

以上

2020.5.27 以降の動き

新型コロナ感染拡大の影響もあり、電話連絡により状況確認

○電話確認内容

- ・再度、5月27日協議の内容を再確認
- ・延長する期日の確認
- ・延長となった場合の覚書の締結の件
- ・要領書の提出の件
- ・その他、町執行部を含め協議を行うことを伝える。

延長覚書策定準備

○FFG ビジネスコンサルティングとの協議

- ・やまやコミュニケーションズの精算金の支払いを期限延長の件を相談する。
- ・新型コロナウイルス感染拡大による影響を理解
- ・精算金の支払い期限延長に関する準備として覚書案の策定を依頼
- ・FFG ビジネスコンサルティングでたたき台を作成し、当社が委託している弁護士に確認を取る。
- ・FFG ビジネスコンサルティングが作成した段階で町にも共有を行う。

やまやコミュニケーションズから

○電話確認内容

- ・町の協議内容の結果を問われる。
- ・協議中であることを伝える。
- ・町から覚書の締結準備として覚書案を作成している。

本社工場の現状視察

○工場の稼働状況を目視による確認

- ・3レーンによる製造工程が1レーンのみであった。
- ・安川電機から導入したロボット機器が稼働していなかった。
- ・午前と午後を別日で確認（アポイントなしで工場見学ブースから確認）

請願書の提出に伴い受領印を押さなかった理由

篠栗町文書管理規則第12条第1項の規定

(普通文書の收受)

第12条 特殊文書その他開封が特に必要でないと認められる文書又は物品以外の文書(以下「普通文書」という。)の配付を受けた課の文書取扱者は、次に定めるところにより処理

しなければならない。また、当該課に直接到達した普通文書及び職員が会議等で直接受領した普通文書についても同様とする。

(1) 收受した普通文書を電子化し、文書管理システムに件名、当該普通文書を收受した日その他必要な情報を登録し、文書番号を取得すること。

(2) 前号の普通文書が電子化して文書管理システムに保存することが適さない場合は、当該普通文書の余白に課收受印(様式第 4 号)を押印し、收受印の番号欄に前号の規定により文書管理システムで取得した文書番号を記載すること。

これらの手続きにより受領印は押印していません。

町の判断

- ・既に 2 割の保証金を遅滞なく納付していること。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響をまともに受けた業種であること。
- ・篠栗町への進出を断念していないこと。
- ・福岡市東区松島の本社工場から全面移転を行うこと。
- ・篠栗町が行う地方創生への取り組みを理解し、参画する意思を示していること。
- ・鹿島建設との建屋建設協議を継続していること。
- ・篠栗町の賑わいや雇用の創出に対し、貢献の意思を示していること。
- ・進出企業の中で核となる企業であること。
- ・本町のふるさと納税返礼品において一番の貢献企業であること。
- ・ふるさと返礼品の更なるメニューの増加が期待できること。
- ・篠栗北地区産業団地の将来像や当該団地のコンセプトを描いていること。
- ・固定資産税や法人税等による町への歳入が増加すること。
- ・やまやコミュニケーションズによる社会貢献活動が期待できること。

このようなことから町への貢献に対する意識の高さ、町に与える様々な影響等を総合的に勘案した結果、精算金の支払い猶予を認めることにしました。

再延長協議

202012.16 10:00 やまやコミュニケーションズとの協議(再延長の可能性示唆)

出席者 やまやコミュニケーションズ

篠栗町：町長 熊谷

やまや側から

- ・GoToの停止は、驚いた。
- ・期待する部分もあったが篠栗進出に向け計画どおりに進めていく。
- ・建屋も当初の計画よりコストダウンを図らなければならない。
- ・観光客向けのブースに関しても協議していく。

- ・その他の進出企業とプロジェクトを立ち上げていきたい。
- ・古賀市の工場団地ではなく6社で何か取り組みたい。
- ・全国から来てもらえるようにしたい。
- ・操業開始時期は、変えないが清算金の支払時期の再延長をお願いするかもしれない。
- ・融資先である福岡銀行が第3者（コンサル）を入れ、業務改善計画を立案していくことになる。

町から

- ・詳細が分かれば報告してほしい。

やまや側から

- ・承知した。

2020.12.22（火）15:15 やまやコミュニケーションズから電話連絡

やまや側から

・先日（16日）に来社された際、まだ正式に銀行側と協議が固まってないことから話が出来なかったが、社長も申したように福岡銀行からの融資を受けるためには、第3者機関（コンサル）を入れたところで今後の成長戦略を練る必要があるとの申し入れがあり、その策定に期間を要することから清算金の支払いを延ばしてほしい。

町から

- ・再延長となると今の段階では返事できない。
- ・どのくらいの期間を要するのか？福岡銀行は、どのように言っているのか？

やまや側から

- ・6ヶ月を言われている。
- ・手持ち資金が無いわけではないが、新型コロナウイルス感染拡大によって受けた影響を考えると延長してもらいたい。

町から

- ・現段階では、判断できない。一度内部で協議する。

やまや側から

- ・当然そのような話になると思う。協議いただきたい。

町から

- ・承知した。

その後、町執行部で協議する。

2021.1.14(木) 16:15 やまやコミュニケーションズから電話連絡

やまや側から

- ・昨年末に当社からお願いしていた精算金の支払い延期の件はどのようなになったのか？

町から

- ・現在、執行部で協議を行っており、まだ結果が出ていない。

やまや側から

- ・結果が出たら教えて欲しい。

町から

- ・承知した。

その後、執行部で協議

町の判断

- ・第1回目の猶予と同様の判断を行ったこと。
- ・建設費も含めた上で、融資先と協議していること。
- ・融資先が指定するコンサルと業務改善計画の策定が必要となったこと。
- ・新型コロナウイルス感染拡大による売上げ減少に伴い
- ・令和3年8月末で支払いが確定できること。
- ・再延長により本来本町が支払わなければならなくなった借入金利息相当分の負担に応じる意思を示したこと。

このようなことから町への貢献に対する意識の高さ、町に与える様々な影響等を総合的に勘案した結果、精算金の支払いの再猶予を認めることにしました。

以上

株式会社やまやコミュニケーションズ 売上高推移

単位：千円

2018年				2019年									合計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売上高	1,322,342	1,468,861	1,608,069	2,171,172	1,311,694	1,184,730	1,433,139	1,378,181	1,220,237	1,303,059	1,659,791	1,404,119	17,465,395
2019年				2020年									合計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売上高	1,287,349	1,340,990	1,546,437	2,088,218	1,257,138	1,259,504	1,043,770	676,990	633,522	951,184	1,254,246	959,718	14,299,067
前年比	97.4%	91.3%	96.2%	96.2%	95.8%	106.3%	72.8%	49.1%	51.9%	73.0%	75.6%	68.4%	81.9%

2020年3月よりコロナ禍による影響で、飲食事業、お土産物の売上が激減した。

2020年9月以降も、コロナ第3波、第4波、第5波により同様の傾向で推移している。